

# インタビュー調査

## 1 インタビュー調査の実施概要

|              |   |   |  |   |
|--------------|---|---|--|---|
| 学童クラブ支援員・PTA | 目的  | 乳幼児保護者、小学生保護者、成人前本人のニーズ調査では拾えない子どもの育ちを支える立場の意見を聞き、計画に反映させることを目的とする。   |  |   |
|              | 声かけ方法                                       | 事前調査項目  | 聞き取り手法   | 主な聞き取り項目  |
|              | PTAの会で依頼し、PTA役員を対象に実施<br><br>学童クラブ支援員を対象に実施 | (1)子どもに関する課題は何だと思いますか。<br>(2)どのような子どもになってほしいですか。<br>(3)家庭教育や地域の教育力は機能していると思いますか。<br>(4)家庭教育では、どのような取組が必要だと思いますか。<br>(5)地域の教育力を高めるためには、どのような取組が必要だと思いますか。<br>(6)墨田区の子育て環境をどのように感じていますか。  | 座談会方式<br>コンサル・評価委員による聞き取り<br>音声による録音の上、議事内容をまとめる | (1)墨田区の子どもたちや、その家庭について感じること<br>(2)地域で特に重点をおくべきこと<br>(3)学校、家庭、地域の連携による子どもの育成活動で必要なこと<br>(4)墨田区の子育て環境に望むこと                                  |
| 高校生          | 目的  | 基本的には、成人前本人のニーズ調査と重複するが、基本理念「子どもと親と地域が共に育ち、子どもの利益を優先するまち すみだ」の実現のために、子どもの夢や悩んでいることを直接聞き、計画に反映させることを目的とする。   |  |   |
|              | 声かけ方法                                       | 事前調査項目  | 聞き取り手法   | 主な聞き取り項目  |
|              | 区内高校に依頼し、その高校生を対象に実施                        | (1)学年と性別をお答えください。<br>(2)兄弟姉妹がいるかお答えください。<br>(3)平日の放課後は、何をしている(どこにいる)ことが多いですか。<br>(4)友だちと遊んだり、出かけたりするところはどこが多いですか。<br>(5)学校での生活は楽しいですか。<br>(6)家庭での生活は楽しいですか。<br>(7)どのようなことに興味・関心がありますか。<br>(8)どのような悩みや心配事がありますか。<br>(9)悩みや心配事はだれに相談しますか。<br>(10)大人になっても墨田区に住みたいと思いますか。<br>(11)大人になっても墨田区に住みたいと思う理由は何ですか。<br>(12)大人になったら墨田区に住みたいと思わない理由は何ですか。 | 座談会方式<br>コンサル・評価委員による聞き取り<br>音声による録音の上、議事内容をまとめる | (1)墨田区の強み<br>(2)墨田区がもっとこうしたら良いと思うこと<br>(3)今、あなたが楽しいと感じること<br>(4)最近の悩みや心配ごと、その相談先<br>(5)ご近所の方との付き合い方、地域活動への参加状況<br>(6)今の日本社会について、問題だと感じること |

|                |  |  |  |   |
|----------------|--|--|--|---|
|                | 目的                                       | 乳幼児保護者、小学生保護者、成人前本人のニーズ調査では障害のある子どもをもつ保護者の意見が少数となりニーズが見えなくなるため、直接対象者の意見を聞き、計画に反映させることを目的とする。   |  |   |
|                | 声かけ方法                                    | 事前調査項目   | 聞き取り手法   | 主な聞き取り項目  |
| 障害のある子どもをもつ保護者 | 小学校に依頼し、小学校の特別支援学級にお子さんを通級させている保護者を対象に実施 | <ul style="list-style-type: none"> <li>(1)対象のお子さんの年齢(学年) ちょうだいについてご記入ください。</li> <li>(2)子育てを主にしているのは、お子さんからみてどなたですか。</li> <li>(3)主な保護者についてお答えください。</li> <li>(4)お子さんの育ちに関して心配なことについてご記入ください。</li> <li>(5)ふだんの暮らしで困っていることがあればご記入ください。</li> <li>(6)(5)で「困っていることがある」という意見を書かれた方は、誰に(どこに)相談しましたか。また、子育てをする上で、気軽に相談できる人や相談できる場所等がありますか。</li> <li>(7)保育や教育に望むことはどのようなことですか。</li> <li>(8)お子さんは放課後や夏休みなどの長期休業中に、幼稚園、保育園、学校以外ではどのように過ごしていますか。</li> <li>(9)隣近所とどの程度つきあいをしていますか。</li> <li>(10)ふだん、差別や偏見、疎外感などを感じることはありませんか。</li> <li>(11)どのような場面で差別や偏見、疎外感などを感じましたか。</li> <li>(12)療育を始める際に迷ったことや困ったことがあれば具体的にお聞かせください。</li> <li>(13)将来に対して不安・心配なことがあればお聞かせください。</li> <li>(14)お子さんを育てていく上で、墨田区的环境をどのように感じていますか。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>座談会方式</li> <li>コンサル・評価委員による聞き取り</li> <li>音声による録音の上、議事内容をまとめる</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>(1)ふだんの暮らしで困っている(困った)こと</li> <li>(2)ふだんの暮らしで困っている(困った)ときの相談先</li> <li>(3)保育や教育に望むこと</li> <li>(4)放課後や夏休みなどの長期休業中の過ごし方</li> <li>(5)墨田区の子育て環境に望むこと</li> <li>(6)将来に対する不安(困っていること)</li> </ul> |

## 2 学童クラブ支援員に対するインタビュー結果

学校、家庭、地域の連携や幼、小、中間の連携について

- ・実際に働いてみると家庭の中だけではなく、学校でも問題行動がでたり、児童館に来てもそのような問題行動など気になる部分が出てくるので、家庭の中だけでおさめてはいけないととても感じた。子どもたちは地域の中でずっと育っていくので、何か変わったことがあったら学校と地域が連携して支援をしていくのが一番よいと感じている。
- ・今課題のあるお子さんの情報が、学校までは来るけれども、児童館や学童まで届かないことがある。学校では保育園で聞いているということもあるが、学校の先生もそこは個人情報だからあまりここで話せないということもあり、学童はおまけのような感じがすると感じた。
- ・学童に入る前に面談をするが、保育園の時の家庭の問題や行動的に気になる部分などがあったら教えていただけるとよいと思う。

子どもたちを見ていて気になること

- ・全体としてはではないが、朝ごはんを食べてこない家があったり、夏休みに入るとそのような生活がでてくる子どもがいる。
- ・不登校やいじめに関する事で、なかなかいじめなどは見えづらく、把握しづらい部分がある。そのようなことがあった場合は、学校の先生と連絡をする。
- ・低学年なので、そこまで続いていじめみたいなことはなかなかないが、少しこの子は強く出てしまうとか、最近みんなのあたりが少し強くなってきているなどということからはじまると思うので、そのようなところで気づくことはできる。
- ・学校とは相談できる体制ができており、学校での様子など、情報交換などをする。どちらかという、幼稚園や保育園から来る時にもう少し情報があったらよりいいと思う。
- ・児童館に来る子どもたちは、こちらで用意した遊びはできるが、自分たちで工夫することができない子どもも多いと思う。特に学童は困われているので、非常に世界が狭いと思う。
- ・ここしか居場所がないのではないかと心配になる子どももいる。
- ・中学生の利用が多く、ここに来てずっとスマホをいじっている子どももいる。学年が上がるごとにスマホでの遊びが少なくなってしまい、それなら児童館でなくてもよいのではないかと寂しく感じる。ずっと画面を見て、目も合わさずに不健康な気がする。
- ・子どもたちから「面倒くさい」「無理」という言葉がよく出る。失敗に慣れていなかったり、打たれ弱い子どもが結構いる。

どのような子どもたちになってほしいか

- ・子どもにはたくさん遊んでほしい。自分自身の子どもの時代と今の子どもたちを比べて見てしまうことが多いが、結構塾や学校も長く、土曜日授業があったり、放課後に残ったりなどして、なかなか学童に帰ってきて遊ぶ時間がない。勉強もとても大切だが、子ども時代に遊ぶべきだと私は思っているので、友達とたくさん遊んでほしい。
- ・子どもは忙しいとは感じる。塾とか宿題とか、好きでやっているものだったらよいが、あまり好きでなくてもやっている子どもも中にはいる。
- ・DSなどをして1人で遊んでいる子もいるが、DSは通信してみんなのでできるので、かえって普段遊ばない子がそのゲームで関わっていたりもする。

### 家庭教育・地域教育とは

- ・家庭は本当にその子の土台になる場所だと思う。家庭が安定しないとその子の気持ちも安定しない。家庭教育は、ごはんを食べる時には「いただきます」など、人として当たり前のことを当たり前のようにできることや思いやりなどのようなものだと思う。
- ・言葉づかいなどで、友達のことを「お前」というところは、お母さんも使ったりすることも見たりする。
- ・ネグレクト気味のお子さんなども以前にいたが、親も服装の乱れがあった。
- ・家庭教育、地域教育とはなんだろうと思うが、ただ学習という面だけではないと思う。この地域は町会とか学校の親父の会などとても熱心で、地域活動が活発だと思う。

### 家庭教育を高めるための取り組みとは

- ・体験できる機会が必要で、親子で普段できないことを一緒にやることで思い出にも残る。
- ・乳幼児の間は保護者同士の交流などももてると思うが、仕事を始めると学童とか保育園とか家庭、小学校などでお母さん同士の交流の場は減ってくる。交流する場所があるといろいろな悩みなど相談できる機会になると思う。

### 地域の教育力を高める取り組みとは

- ・児童館に来る子で、お母さんが今日家にいると邪魔だから来たと聞くことがあるが、やはりその一人ひとりの子どもたちに周りの大人が関心をもって話しかけたりすることが大切かと思う。

### 行政に対する要望について

- ・職員だけだとどうしてもできない部分があって、突発的にすごく見守りたい家庭とか、学童職員や児童館の職員だけだとそこまで介入できない。だけど子ども課や子育て支援課だけではなくて何か相談したい、お母さんとその家族には聞こえなくて、そのような支援など受けていない家庭など、子どもは健常で何ともないが、危機感を感じているというケースがある。
- ・子育て支援総合センターなどに連絡などはしているのが、区の対応など大きな政策ではなくて、きめ細かな対応ができないことを日々の中で感じる時がある。
- ・サービスがあっても知らなかったり、受けるのは、と思っている家庭もあると思うので受けやすい環境を整えたり、こちらからも発信していく必要があると思う。子育て支援総合センターや児童相談所の方が介入しやすいように、少し上の部分が機能しやすいようにしていく必要があるのかと思う。

### 地域の中での子どもの居場所

- ・地域の中で子どもたちの居場所というのは実はそんなにないのではないかと思う。「地域で子育てをしましょう」というのはどこの区でもあると思うが、実はそれは児童館に押し込めているのではないかと感じる。地域に公園が多いが、遊んでいる子どもは多くはないと思う。
- ・地域との共生を謳っている地域もたくさんあるが、それを感じたことはない。この地域は昔からの地元の人が多くて、自分たちの年齢を積み重ねたものを大事にしているが、その中に子どもが入っているかといえばそうでもなかったりする。子どもたちの居場所としては少し足りないところがあるのではないかと思う。

### 親や大人と子どもの関係

- ・親や大人がいないと遊べないことが多い。自分たちで何かをする、ルールを考えるとというのはあまり上手にはできないと思う。

- ・各家庭でいろいろな状況があると思うが、親と子どもの関係をどうにかケアできないかと思うことがある。
- ・家庭教育などに関しては、児童館として踏み込むのは難しいと思う。個人面談で言うこともあるが、受けとめてくれる人もいれば、そうでない人もいて、言い方が難しい。ここは学校ではなく生活の場なので、家の生活とこちらの生活を照らし合わせなければいけないところも出てくるので、そうなる家庭に踏み込まなければいけなくなり、難しい。

#### 児童館としての今後のあり方

- ・地域と親子をつなげるものが必要かと思う。そのためにも、親を中心に地域で育てるという体制づくりができればよいと思う。その中に児童館を入れてほしいと思うし、地域の中の児童館になりたいと考えている。子どものあそび場として、まず児童館となると、子どもしか集まってきません。地域で親子を育てるという地域づくりの方が、地域の共生という部分では筋が通っているような気がする。
- ・児童館の行事で親子参加というのは、小学生対象になるとない。学童の行事では、親子交流運動会があり、そういったものがあると家に帰ってから親子で話ができる。特に学童の子どもたちは親子で共有できるものが少ないので、なるべく親も巻き込めるものが地域の中に当たり前にあるとよいと思う。
- ・学校との連携ということで、担任の先生と話もするが連携がとれているとは言い切れない。
- ・行事等で学校の施設を借りられるので、この地域の学校は協力的ではある。
- ・問題が起きたときに、学校の問題なのか児童館の問題なのかわからないときがあるので、そこは連携不足だと思う。
- ・1年2年3年生の先生とはつながるが、それ以上になるとつながりは薄くなる。1年ごとに担任が変わってしまうので、その都度一から構築していかなければならないということもある。
- ・小1から高3までが同じ空間で生活するのは不可能だという気はする。上の子どもがどうしても気をつかうので、そこでストレスがたまる。
- ・個人面談をしていて、一番安心するのが「家ではわがままです」という言葉。家でわがままを言える子どもは外でしっかりするので、ちゃんと甘えているのだと思う。
- ・どうしても自分の意にそぐわない児童館行事があると、すっといなくなる子どもがいる。ここは児童館ではなく、ただの都合のよい場所になっていないかと思うこともある。そこは児童館としての機能として、子どもをひきつけていないということだと思っている。ここしか来るところがなくて来ている子どもも大事だし、児童館としては普段来ない子どもをどう呼ぶか、そうしないと発展していかないと思う。

### 3 P T A役員に対するインタビュー結果

#### 最近の子どもたちや地域を見て思うこと

- ・特に道徳心の低下ということで、日頃からいろいろなことを教えているがなかなか親の気持ちが伝わらない。
- ・町会に入っていない子どもだと、地域の人とふれ合う機会がないと思う。自分から町会に申し込みに行くという形で、どこに申し込みに行けばよいのかもわからない状態で最初は困った。町会で夏にちょっとした出し物なども行っているが、うちの子どもは町会費を払っていないので行ってよいのかもわからなかった。知り合いを通じてやっと入れた。
- ・子ども会も子どもが少なくなって機能していないところも多い。機能しているところは半分くらいだと思う。
- ・子どもたちが習い事などで、イベントに参加ができない。町会でも年に1回ディズニーランドに行ったり、盆踊りでお菓子を配るくらいだが、忙しくて参加できていない。

#### P T Aをしている中での困り事など

- ・イベントをやっても集まらない。どうしてもイベントが土日に集中してしまうが、子どもたちは土曜、日曜はクラブチームに入っていたりして習い事が多いので、そういったところに参加できないということが多い。
- ・放課後の居場所づくり（校庭開放）として、立花吾嬬小学校では居場所づくりを率先してつくっており、週3回、月曜、水曜、木曜、3年生以上を対象に行っていて、1日100人くらいの児童が利用している。多い日だと130人くらいの利用数がある。雨が降った日は体育館を利用したり、子どもたちの宿題など勉強をみたりなど、居場所づくりや学力向上にもP T Aとしても貢献している。
- ・見守り隊も年1回から2回交代制で、保護者の方の協力を得て見守りを行っている。
- ・放課後子ども塾のスタッフをしているが、常時スタッフになってくれる方がいない。立花吾嬬小学校は主に体育館と校庭、ミーティングルームで勉強を教えているので、3か所にわかれてしまう。その3か所に人を配置するとなるとそれなりの人数が必要になる。
- ・保護者の方のボランティアで成り立っているが、ケガなどの心配があるのでもう少しスタッフが必要だと日々感じている。
- ・働いている方が多いので基本的に会議などは、平日の夜7時から9時までの2時間。
- ・見守りに、下の子どもを連れてきてはダメという地区もあり、それがいつもつらい。（未就学児の子どもを連れての見守りは危険という理由はわかるが）
- ・今の子どもは塾やクラブチームで夜練があったりするため帰りが遅いが、街灯が少なく暗く怖いので、もう少し整備してほしい。
- ・江戸川区のほうは学校のプールを期間的に開放しているため、そういったことを墨田区の学校でもできないかと思う。（プールの事故は非常に怖いので講習会も受けないと見守りはできないなど課題がある。）

#### 子育てに関する情報について

- ・8月に区の水泳大会があるが、以前は先生たちが水泳大会の近くになると指導してくれたのが、今はそれができず、勝手に区役所に行って自分でエントリーしてくださいという感じとなっている。区報を見て初めて知ることもある。体力の低下ということがあるが、子どもにそもそものアナウンスがなければ向上させようがない。（区役所のほうでは情報を出しているつもりでも、情報が届いていなかったということもある。）

- ・区役所や、子育て広場や児童館などでも毎週のように夏休みはイベントを行っているので、そういった情報というのは自分から区報などを見たり、図書館などに行って情報を集めている方には届くが、そうでないと届きづらい。
- ・区報とはそもそもどこで配られているのかわからない。こちらがアクションを起こしてもらいにはいかないと手元には来ない。(スーパーなどでも店長さんが熱心だと置いてあるところもある。)
- ・区報が大幅にリニューアルして一行になってしまい前よりもわかりにくくなっている。前よりいろいろなことが紙面に載らないので、詳しくはホームページになっている。個々はダウンロードできるようになっているが、スマホを持っていない方への配慮ができていない。
- ・区報を家庭数配布で学校から毎月できないか。
- ・「夏休みわくわく 〇〇に参加しませんか」など、一般団体のチラシを子どもが持ってくることもあるが、墨田区が主催しているものはお知らせとしてくることは少ない。学校から配られたものは影響力があるのでそういったものが配布物としてあると情報としては行き届きやすいのかと思う。
- ・区報に載っている墨田区のイベントごとというものを、学校でプリントなどに起こしてくれるのであれば手元には来ると思う。
- ・安全・安心メールについて、不審者が出たとは来るが、その不審者がどうなったのか、その後の連絡についてもしてほしい。
- ・あちこちからいろいろ来るので、情報源は1か所に統一してほしい。
- ・地震が起こった場合や、川が氾濫したときにはここは水没すると言われているが、どこに逃げればよいのかなど情報がほしい。(ハザードマップは、全家庭に配られているし、ホームページにも載っている。)

#### 子どもの居場所について

- ・子どもと親が地域の中で関わりをもっと持っていきたいが、児童館があまり快適でないのもっとお金をかけてほしい。
- ・鳩のフン害が多い公園もある。ジメツとした違う空気になっているし、夜通りたくないような感じになっている。
- ・街灯がついていない公園もあり、そういった公園は、子どもたちも怖いと言っている。
- ・墨田区で充実している公園はない。もう少し他区の公園のように充実させてもらえると子どもたちも喜ぶと思う。
- ・公園に行ってもボール投げができません。キャッチボールやサッカーはできなくなっているのも、そういったことができるスペースをつくってほしい。
- ・江戸川区の水辺スポーツガーデンは、フットサル場を1時間数百円で貸してくれる。
- ・墨田区は学童も1年生から3年生までだけれども、江戸川区は6年生までとなっている。江東区に関しては、長期の休みのときに朝普通に学校に行ってよいということで、お弁当をもって行く。先生も朝から何人が来ていて、マグネットで〇〇さんは今体育館にいますと居場所を明確にしている。仕事をしている上でそういったものがあるとありがたい。そういった江東区のような制度があるのであれば、夕方4時5時までは誰かがいて開放してくれるのはありがたい。
- ・墨田区は土曜育成もあるので午前中は学校に行き、帰ってきてどこにいるんだろうというようになる。
- ・学校は授業時間のとき以外はノータッチということだと、子どもたちの居場所がどんどん減っていくと思う。

### 地域活動について

- ・地域での活動として防災拠点会議というものはやっている。
- ・この学校の中でどのように避難するかということを自治会などでも話し合っている。地域とのつながりをつくっておかないと、何かあったときに誰だかわからなくなる。若い人がなかなか防災訓練に参加していない。
- ・3年くらい前に、防災拠点会議の主催で防災に関する講演会があり、東日本大震災を体験した人の生の声を聞くということを行った。結局集まったのは町会のおじいちゃんとおばあちゃんだった。私たちの年代の人が聞かないといけない。自助・共助・公助でいくとおじいちゃんおばあちゃんは助ける側になるので、とにかく若い人に参加してもらいたい。



## 4 高校生に対するインタビュー結果

学校が楽しいと感じる時は

- ・普通に楽しいという感じ。
- ・部活が楽しかった。
- ・友達と話をしているとき。
- ・学校の生活は全部が「とても楽しい」と感じる
- ・去年が楽しすぎて今は楽しく感じられない。
- ・勉強が大嫌いなので楽しく感じられない。 など。

家庭での生活は楽しいか

- ・親と仲が悪い、親によく怒られる。
- ・最近家族で全員が揃うことがないので、全員が揃うと嬉しい。

自分のまちにそのまま住み続けたいと思うか

- ・墨田区の人はいい意味で変な人ばかり。一緒にいると波長があう。
- ・地元の人たちなど見慣れているから安心する。
- ・銭湯が近くにあるから。週末によく行く。
- ・よく知っているところなので。

墨田区がもっとこうしたらよくなると思うこと

- ・最近、墨田区は公園が減っている。小さい頃に公園でよく遊んでいたのに、思い出の場所が無くなるのは悲しいと思う。

地域活動について

- ・学校のボランティアで。
- ・警察の交通少年団というものがあって、小学生の面倒をみている。
- ・自分が小学生のときにやっていた、中学生のときは部活が忙しくて離れていたのだけれど、妹がいて、妹がずっと続けていたのでやらないかと言われてやっている。
- ・盆踊りで太鼓をたたくなど、中学生まではやっていた。
- ・参加したことがある地域の活動は、お祭りや防災訓練。
- ・地域の活動には、中学校の部活動やボランティアで参加したり、学校で団体として参加したり、ボーイスカウトから参加している。
- ・小学校の運動会とは別に地区の運動会があり、その手伝いをした。
- ・ケーキ屋、病院、甘味処、図書館、ペットショップ、ドーナツショップ、保育園、郵便局、幼稚園、障がい者施設などで職業体験をした。

興味・関心があること

- ・スマートフォン、進路、遊び・ゲーム、成績、手芸、テレビ など。

学校以外にでかける場所

- ・図書館、散歩、公園、コンビニエンスストア、ショッピングモール（葛飾区）、ラーメン屋、土手、谷根千（文京区、台東区）の店 など。（谷根千…谷中、根津、千駄木）

### 墨田区が好きな理由

- ・ずっと住んでいるから、スカイツリーがあるから、道の端に自転車専用レーンがあるから、図書館がきれいで充実しているから、カフェや喫茶店があるから など。

### 墨田区の良いところ

- ・地域の人がかんばっている、コンビニエンスストア等にイートンスペースが多い など。
- ・墨田区の図書館は、自動加湿器があり、学生が集中できる環境が整っている。
- ・スカイツリーが近くにあって、最先端かと思いつつ、下町のところもあり、融合されている。
- ・墨田区はものづくりのまち。小さい工場などがたくさんあるところがよいと思う。
- ・土手が学校の近くにあってきれい。私の住んでいる家の近くの土手は汚い。
- ・私の住んでいるところは何もなくて遊ぶところがないけど、墨田区は自転車で錦糸町やスカイツリー、ソラマチなどで遊べるところがある。
- ・墨田区はコンビニが多いから便利。

### 墨田区の良くないところ

- ・大型トラックの排気ガスが多い、電車の便があまりよくない、夏休みが長い など。
- ・墨田区は道が真っすぐでないので、道がわかりにくい。
- ・自転車通学していて危ないと感じるのは、道に横から人が出てきたとき。
- ・自転車通学で水戸街道を利用しているが、歩道はガタガタで、青い自転車専用帯に車が止まっているとひかれそうになって危険。
- ・自分が住んでいる江東区に比べると道が狭いと思う。車の通りも広いほうが安全に通れるし、交通の便が少し悪いと思う。

### 今の日本でおかしいなと思うこと

- ・ニュースなどで報じられている社会的問題（虐待など）について、環境などで影響を受けると思う。
- ・今の日本社会での問題は、保育園など必要なものが不足していることだと思う。
- ・2020年のオリンピックに向けていろいろな問題が挙がっているが、東北や熊本での震災の復興が進んでいないことを考えると、東京だけで盛り上がるのではなく、もう少し日本全体で被災地を支え合ってからオリンピックを誘致してもよかったと思う。
- ・議員の人の資金問題は、よくない。
- ・道に自動販売機が多すぎると感じる。
- ・街灯が少ない道があり、夜間怖いと感じる。
- ・原子力発電に関して、都会では電気が必要かもしれないが、発電所を置く場所の人は不安と戦っているの、しっかりと話し合う場所を設けて最良の解決策を得るためにもっと時間を割くべきだと思う。
- ・飲食店のメニュー等が日本語に限られているので、外国語表示を増やしたほうがよいと思う。
- ・中学3年間と高校でも英語を習っているが、使える英語はまったく身につけておらず、外国人に何か聞かれてもスムーズに答えることができない。1年間だけ留学していた子のほうが、4年間習った私よりも上手く話すことができる。
- ・小学生の英語教育については、ちゃんとした日本語が定着していないのに英語も学ぶことになるので、どちらかがおろそかになる気がする。
- ・学校で学ぶ英語は文法など受験用だけど、実際に話すときには文法は関係なく話すものだと思う。

#### その他区役所への要望

- ・公衆トイレの設備が古くて悪いので治安がわるいので、きれいにすることで治安よくしてほしい。
- ・自転車専用道路をつくってほしい。
- ・細い道が多くて危険なので、改善してほしい。

#### 待機児童について

- ・保育士の給料をあげないといけない。保育士免許を持っていても保育士にならない人がいるので、給料が少しでもあがれば保育士になる人が増えるのではないかと。
- ・都や区で認可などしていない保育園などをどうにかして認可して、ショッピングモールの中や自分たちの家の近くなど、行きやすい場所などに保育園など子どもを預ける施設をつくる。
- ・日本は少子高齢化だけど、いろいろなところで子どもの話をしているのに、個人的には老人ホームのほうが多いような気がする。命を大切にすることとはとても大事なことだと思うが、保育園や幼稚園が少なくて、子どもが預けられないなど、それは何かおかしいのではないかと。少子高齢化をなくしたいのであれば、保育園などもしっかりつくって増やしていかないと、親御さんなども子どもを安心して育てられないのではないかと思う。
- ・私は小学生のときに保育士になりたくて目指しており、中学のときに職場体験で保育園に応募して保育園に行った。本当に大変で、朝早いし、子どもと遊んだり、世話をしたり、自分も動かなければいけない。でもちゃんとみていなくてはいけないし、夕方までずっと動きっぱなしで大変だったので、もう無理だと思ってそこで諦めた。本当に保育士というものが大変で国家試験を受けなくてはならないし、目指す過程も大変なので、保育士さんがもっと働きやすい環境を保育士目線で考えないといけない。
- ・自分には合っているけれど、みんなに保育士になりたいと言うと「将来が大変だよ」とか言われて、最近保育士になりたいという人が減ったと思う。

#### 今の親たちに言いたいこと

- ・親のマナーが悪い。ベビーカーを置いたまま買い物や話をしている。
- ・車の中に子どもを置き去りにしてそのまま亡くなってしまったとか、子どものことよりも自分のことを優先する親が増えてきたと思う。もう少し親という自覚を持っている人が増えるとよいと思う。
- ・子どもが騒いでいたり、走り回ったりしていても注意しない親が多くて、お客さんにぶつかったりする。親が注意しないから悪いことだと思わないでそのままずっと続けてしまったりするので、そのようなところは親がしっかりと注意して子育てしていてもらいたいと思う。
- ・自分がもし子どもを産んで育てるのだったら、働きながら子どもを育てたいけど、自分が働いていると子どもの面倒をみられなくなったりすると思う。それでもしっかりと子どもにいろいろな常識などを言っていかないと、非常識な子に育ってしまうと思う。今そのようなことが多くて、自分勝手な人などが出てきたり、常識のマナーがなくなっている人などが出てしまうと思うので、働きながらでもいろいろ教えたり、そのようなことができる環境がほしい。

#### もし区長になったら

- ・墨田区は自転車を通る幅が狭くて、小学生などが倒れると危ないので改善したい。
- ・墨田区は自転車ですぐ走っていると、地図でみたら曲がっている。道が整備されていないので整備したい。
- ・バスの本数を増やす。1時間に1本くらいしかないし、通学時間帯にバスがない。
- ・民主主義と言いつつ国民の意見が全然反映されていないので、もし区長になったら、国民に近い存在である区長から区民の意見を反映させることができたらよいと思う。

- ・治安をよくしたいと思う。小岩は駅が2つあるが、JRの駅はよくないお店が多く治安が悪いように思う。また、夜の道が暗いし、パチンコ店が多いけれど、パチンコ店を利用しない住民も住みやすく対応できるまちにしたいと思う。
- ・葛飾区は理科大ができてから若い人が増えて道路などにゴミが増えたので、もし区長になったら、ボランティアを増やすなどしてきれいにしたいと思う。
- ・区内循環バスの反対周りをつくる。とても近いところにいきたくても一周しなければいけないから。
- ・小さい子どもが多いので歩きタバコを規制する。道路に禁止だと貼ってあるが、吸い殻を道路に捨てる人が多いので、呼びかけ等をして止めてもらいたい。
- ・地元の大型店がどんどん高齢者向けになっている。若い人が使わなくなり、若い人用のお店が減り、ベンチが増えている。もし区長になったら、若い人も地元の魅力を感じられるように活性化したい。
- ・公立学校は施設が古いので、もし区長になったら、特にトイレ等をきれいにしたいと思う。
- ・防災を強化したい。先日のニュースで、30年の間に7割の確率で東京に地震が起きるといっていた。都知事選の際の政策は費用がかかるものばかりで、いつになるのだろうかと思った。例えば、身近にできることで、ヘルメットを各家庭に配置するとか、学校で行う避難訓練をまちでも実施できるとよい。
- ・喫煙スペースに扉をつけたい。学校に行く途中にあるコンビニエンスストアの喫煙スペースは屋外なので扉などがなく、とても煙がいやな思いをする。駅前の喫煙スペースも線で括られているが、煙が流れてくる。
- ・商店街を活性化したいと思う。通学路にある商店街がどんどん店じまいしてしまい、お客さんは価格が安い大型スーパーに流れてしまったのだと思う。国や区が補助金などをだして、商店街を活性化できたらよいと思う。
- ・未来の子どもたちの環境づくりを強化したい。例えば、足立区は給食がおいしかったので、給食のために学校へ行っていた。子どもの目線になって考えていきたい。
- ・喫煙スペースに大勢の喫煙者が集まると煙の害がひどいので、スペースを区切っている意味がないように思う。もし区長になったら、喫煙スペースを少し遠くにつくるなどの配慮をしたい。

## 5 特別支援学級に通級する生徒の保護者に対するインタビュー結果

お子さんの育ちについての不安、困り事

- ・スマートキッズプラス（民間の施設で、障害のある子どもの療育をおこなう場。スマートキッズプラスは小学6年生までが対象で、スマートキッズジュニアは中高生が対象。）に通っているが、スマートキッズジュニアが墨田区内にない。来年、再来年くらいからジュニアが墨田区にできるのであれば、中学以降預けたい。母子家庭であり、祖父母も高齢なので、子どもの面倒をみるのが不可能になっている。ジュニアは江東区にしかなく、しかも定員が少ない。困っている母親の子どもを受け入れる枠を増やしてほしい。
- ・普通の学童保育だと、発達障がいの子どもの目は変な目で見られる。子どももいじめにあったことがある。スマートキッズプラスだといじめがない。中学校、高校まで行かせたいが、墨田区にないのであれば家にいるしかない。
- ・学童保育を増やすのではなく、発達に気になる子どもたちが行ける枠を増やしてほしい。
- ・支援学級の子どもたちは、先生が専任のほうがその科目が好きな子が多く、目を輝かせている子どもが多い。昨年度はリトミックができたということ子どもが話してくれた。年度当初は人数が多少欠けているかもしれないが、できる限り専任講師を配属してもらったほうが、子どもたちは伸び伸びと好きなことを活かせるので、改善してほしい。
- ・すべての小学校に支援学級を設置するべき。我が家は学区外に通っており、入学当初は片道30分以上かけて通っていた。10分以内で通える小学校もあるのに、支援学級がないからと断られた。墨田区はスペースの問題が大変大きい。すべての小学校に支援学級があれば、他の通常級の子どもにとっても大変よい。
- ・近くにたくさん小学校があるが、それほど交流がない。しかし、子ども同士は塾や習い事で付き合いがある。子ども同士で付き合いがあり、個人的には付き合いがある。しかし、学校では交流がない。墨田区の小学校同士で交流をして、いろいろな子どもがいるということがわかる。スポーツ競技であればやりやすい。
- ・中学校も高校も支援学級が大変少ない。支援学級を増やしてもらえるとよい。普通級の子どもたちと関わって、遊びながら勉強していくのもよい。
- ・まだ小学3年生なので、まだ直接のアプローチはしていないが、今後の進路が一番心配である。こういった将来になるのか、自分でイメージできていない。区役所のどこへ行けばそういった情報がもらえるのか。また、学校でもどのように情報を集めればよいのか。インターネットで探しても見つからず、こういった事例があるのか、墨田区ではどのような事例があるのか等、積極的な発信があれば嬉しい。
- ・うちの子は軽い発達障がいと中度の難聴がある。情報について、区の広報をみても、療育に関する講座は就学児のものが多く、中学校、高校の子どもの保護者向けには少ない。親が参加できる時間帯に講座などがなかったので、増やしてほしい。親同士も情報交換もできる面があるので、考えていただきたい。
- ・子どもは先天性の疾患があり、ケトン食のような食事をしている。アレルギーの子どもはある程度対応してもらえるが、対応してもらえない。
- ・小学校進学時と中学校進学時に就学相談に行ったが、就学相談ですでに受けた質問をもう一度聞かれる。どこかに情報をまとめて、情報の共有ができないだろうか。
- ・個人情報紙を紙ですっくとっておく必要はない。あるいは、情報を書いた紙を保護者に返して、それを持って中学に行ってもらおう方法もある。いろいろなことをするたびに同じことを毎回聞

かれる。

- ・学校ではなく、わからないときがあるので、できれば就学証明、援助を受けている人に配達してほしい。学校を通すことになると、書き忘れなどのミスがあり時間がかかることがある。できれば学校を通すのではなく、直接家に送ってほしい。
- ・中学校で一番心配なのは食べ物である。小学校4年生でアスペルガー症候群と言われたが、食べ物に関して同じものしか食べない。麺類しか食べないので、給食も食べられない。食べない、食べられないではなく、食べたくない、これしか食べないというアスペルガー症候群独特のこだわりがある。家でも麺類、気に入ったお菓子しか食べない。それを3食与えると、嫌いになって食べなくなる。味を変えるなど工夫しているが、この先成長していくと追いつかない。食べなくても普通に生活できるが、それで大丈夫なのか心配である。病院に行って相談しても、まだ4年生だから問題ないと言われる。専門の先生に相談したいが、どこに相談すればよいのか。
- ・発達障がいには、親からしたら、学校生活や普段の生活よりも、子どもがどうなっているのか定期的に診てほしい。検査やテストなどをやってもらったほうがよいのかという不安がある。そう思ったとき、どこにどのようにかかったらよいのか、どこに聞けばよいのかまったくわからない。その情報をどこにどう聞けばよいかわからない。
- ・正しい発音ができず、にじの子に年に4回ST（言語聴覚士）で行っている。年に4回だとすぐ終わってしまうので、できれば毎月2回、少なくとも1回STを受けられるようにしてほしい。通級だと授業を抜けることになり、ついていけなくなるため通級にも行けなかった。もう少し多く通わせて正しい発音ができるように学ばせたい。親だとどのように教えればよいかわからない。